

2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月14日

上場会社名 株式会社ダブルエー 上場取引所 東
 コード番号 7683 URL <https://www.wa-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 肖 俊偉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 丁 蘊 TEL 03(5423)3601
 四半期報告書提出予定日 2020年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第2四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	5,298	△24.8	△270	—	△282	—	△149	—
2020年1月期第2四半期	7,044	—	700	—	727	—	477	—

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 △177百万円 (—%) 2020年1月期第2四半期 463百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	△31.54	—
2020年1月期第2四半期	119.38	—

- (注) 1. 2021年1月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。
2. 2020年1月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載していません。
3. 2019年6月14日開催の取締役会決議により、2019年7月11日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第2四半期	9,375	6,953	74.2
2020年1月期	9,278	7,130	76.9

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 6,953百万円 2020年1月期 7,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,398	△4.4	200	△85.3	181	△86.9	160	△78.8	33.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期2Q	4,746,900株	2020年1月期	4,746,900株
② 期末自己株式数	2021年1月期2Q	－株	2020年1月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期2Q	4,746,900株	2020年1月期2Q	4,000,000株

(注) 当社は、2019年7月11日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。このため期末発行済株式数及び期中平均株式数については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する適切な利用についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで本日開示し、開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年2月1日～2020年7月31日)におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、社会活動が広く制限されたことで、景況感が急激に悪化し極めて厳しい状況で推移しました。6月に入り緊急事態宣言が解除され、一時は減少に向かった新規感染者数は、7月以降再び増加傾向にあり、国内経済の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するファッション業界におきましても、外出自粛やテレワークの導入促進に伴い、出勤や旅行などの外出機会が減少したことで、ファッションへの需要そのものが低下しております。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い消費者の価値観及び購買行動にも変化が見られました。緊急事態宣言が発令された春頃は、巣ごもりを前提とした生活必需品等の最低限の消費活動に留まっておりましたが、経済活動が再開して夏になりましても消費者の節約志向は依然として高く、ファッション性の高いブランド品等は一部を除き業績低迷が続いております。また、費用対効果の高い新しいブランドへの乗り換えが起き始めております。このような消費者の価値観及び購買行動の変化はより顕著になっていくものと予想されます。

このような環境のなかで、当社グループは、「いつでも想像以上に満足のできる商品・サービスを提供します。」の企業理念の下、引き続き好立地、好条件の店舗展開と、成長が見込めるECの拡大に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い安定した営業活動が困難な状態が続いておりました。国内実店舗の稼働状況におきましては、期首より影響を受け、2月は予定していた創業祭を中止いたしました。3月は各都道府県知事の自粛要請及び各ディベロッパーの休業要請により、一部の店舗で営業時間の短縮及び土日祝日の営業中止を余儀なくされました。4月及び5月は特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたことで、すべての店舗を営業中止といたしました。6月に入り、緊急事態宣言の全面解除及び各自治体からの緊急事態措置の緩和を受けて、ようやく3日よりすべての店舗で営業再開となりましたが、当社グループがテナント出店している多くの商業施設において施設全体の来館者数が前年同期比で6割以下となるなど非常に厳しい状況となりました。また、いわゆる3密回避を理由としたバーゲン等の中止により、特に昨年まで好調であった都市部の商業施設において来館者数の落ち込みが大きく影響いたしました。なお、営業時間の短縮及び臨時休業の実施に伴い、一部の商業施設においてテナント賃料の減額措置を受けております。一方で、EC店舗の稼働状況におきましては、実店舗の営業休止や在宅時間の増加により、売上高及び新規会員獲得数は過去最高記録を更新するなど飛躍的な増加となりましたが、実店舗の営業中止期間の売上高の減少分を補てんするまでには至らぬ結果となりました。なお、当第2四半期連結会計期間において、株式会社卑弥呼の全株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,298,846千円(前年同期比24.8%減)、営業損失は270,688千円(前年同期は営業利益700,228千円)となり、経常損失は282,035千円(前年同期は経常利益727,038千円)及び親会社株主に帰属する四半期純損失は149,729千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益477,536千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて、96,990千円増加して9,375,761千円となりました。これは主に、売掛金が438,436千円、たな卸資産が740,571千円、未収還付消費税等及び未収還付法人税等(その他流動資産)が90,311千円、敷金及び保証金が45,874千円、それぞれ増加した一方で、法人税等の納付等により現金及び預金が1,139,750千円、店舗減損により固定資産等が94,697千円、それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて、274,162千円増加して2,422,000千円となりました。これは主に、短期借入金金が340,000千円、買掛金が195,363千円、退職給付に係る負債が154,642千円、それぞれ増加した一方で、未払法人税等が445,656千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、177,172千円減少して6,953,760千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失149,729千円を計上したことにより利益剰余金が149,729千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年6月12日に公表の『2021年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)』において未定としておりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、現時点で入手可能な情報に

基づき算定が可能になりましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、本日（2020年9月14日）公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,886,702	2,746,951
売掛金	698,271	1,136,708
たな卸資産	1,636,297	2,376,868
その他	165,764	271,498
流動資産合計	6,387,036	6,532,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,177,184	961,599
工具、器具及び備品(純額)	139,173	141,659
土地	233,468	233,468
その他(純額)	17,324	15,422
有形固定資産合計	1,567,151	1,352,150
無形固定資産		
ソフトウェア	70,287	98,512
その他	1,243	1,897
無形固定資産合計	71,530	100,410
投資その他の資産		
投資有価証券	155,463	137,747
敷金及び保証金	833,124	878,999
繰延税金資産	247,090	354,671
その他	17,373	19,754
投資その他の資産合計	1,253,052	1,391,172
固定資産合計	2,891,734	2,843,733
資産合計	9,278,771	9,375,761

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,496	480,860
短期借入金	60,000	400,000
未払法人税等	506,576	60,919
賞与引当金	68,630	79,318
ポイント引当金	25,240	29,928
その他	749,902	800,067
流動負債合計	1,695,847	1,851,095
固定負債		
役員退職慰労引当金	196,650	203,500
退職給付に係る負債	36,660	191,302
その他	218,680	176,103
固定負債合計	451,990	570,905
負債合計	2,147,838	2,422,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,643,339	1,643,339
資本剰余金	1,593,329	1,593,329
利益剰余金	3,920,798	3,771,069
株主資本合計	7,157,467	7,007,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,849	△24,141
為替換算調整勘定	△14,684	△29,835
その他の包括利益累計額合計	△26,533	△53,977
純資産合計	7,130,933	6,953,760
負債純資産合計	9,278,771	9,375,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
売上高	7,044,695	5,298,846
売上原価	2,543,998	2,082,835
売上総利益	4,500,697	3,216,011
販売費及び一般管理費	3,800,468	3,486,700
営業利益又は営業損失(△)	700,228	△270,688
営業外収益		
受取利息	1,371	1,648
為替差益	32,955	—
その他	5,448	6,615
営業外収益合計	39,775	8,264
営業外費用		
支払利息	12,565	9,123
為替差損	—	8,619
その他	400	1,868
営業外費用合計	12,965	19,611
経常利益又は経常損失(△)	727,038	△282,035
特別利益		
補助金収入	—	21,128
負ののれん発生益	—	141,954
その他	—	1,938
特別利益合計	—	165,020
特別損失		
固定資産除却損	547	502
減損損失	—	94,697
特別損失合計	547	95,200
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	726,491	△212,215
法人税、住民税及び事業税	280,108	40,904
法人税等調整額	△31,153	△103,391
法人税等合計	248,954	△62,486
四半期純利益又は四半期純損失(△)	477,536	△149,729
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	477,536	△149,729

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	477,536	△149,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,715	△12,291
為替換算調整勘定	△4,063	△15,151
その他の包括利益合計	△13,778	△27,443
四半期包括利益	463,758	△177,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,758	△177,172
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	726,491	△212,215
減価償却費	349,065	314,450
減損損失	—	94,697
のれん償却額	5,338	—
負ののれん発生益	—	△141,954
補助金収入	—	△21,128
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,339	△14,432
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,760	△26,313
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,500	6,850
受取利息及び受取配当金	△5,046	△1,648
支払利息	12,565	9,123
売上債権の増減額(△は増加)	△492,934	△360,289
たな卸資産の増減額(△は増加)	△99,333	△227,230
為替予約(資産)の増減額(△は増加)	△17,431	32,936
仕入債務の増減額(△は減少)	345,790	71,955
未払金の増減額(△は減少)	50,208	38,241
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,465	△94,711
その他	80,640	△88,451
小計	969,741	△620,120
利息及び配当金の受取額	5,046	1,648
助成金等の受取額	—	200,378
利息の支払額	△12,565	△9,210
法人税等の支払額	△214,898	△529,159
営業活動によるキャッシュ・フロー	747,324	△956,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△32,400	△30,760
定期預金の払戻による収入	21,060	30,760
有形固定資産の取得による支出	△127,318	△73,780
無形固定資産の取得による支出	△5,470	△16,889
敷金及び保証金の差入による支出	△112,753	△58,778
敷金及び保証金の回収による収入	42,208	33,818
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△184,816
その他	△10,092	△8,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,767	△308,770
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190,000	340,000
リース債務の返済による支出	△208,293	△211,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△398,293	128,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,392	△2,561
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,871	△1,138,850
現金及び現金同等物の期首残高	1,417,618	3,900,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,539,489	2,761,475

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。